



インスタントメッセージングとプレゼンスサービスの設定

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5 以降を使用したオンプレミス展開に関する IM and Presence サービス ワークフロー, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降を使用したオンプレミス展開に関する IM and Presence サービス ワークフロー, 2 ページ](#)
- [IM and Presence サービスの追加, 2 ページ](#)
- [IM アドレススキームの設定, 4 ページ](#)
- [メッセージの設定の有効化, 5 ページ](#)
- [連絡先リストの一括事前入力, 6 ページ](#)
- [ユーザの設定を行う, 6 ページ](#)
- [ユーザと回線の関連付け, 8 ページ](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5 以降を使用したオンプレミス展開に関する IM and Presence サービス ワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	IM アドレススキームの設定, (4 ページ)	
ステップ 2	メッセージの設定の有効化, (5 ページ)	
ステップ 3	連絡先リストの一括事前入力, (6 ページ)	

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	ユーザの設定を行う , (6 ページ)	
ステップ 5	ユーザと回線の関連付け , (8 ページ)	この手順は任意です。

Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降を使用したオンプレミス展開に関する IM and Presence サービス ワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	IM and Presence サービスの追加 , (2 ページ)	
ステップ 2	IM and Presence サービスの適用 , (3 ページ)	
ステップ 3	IM アドレス スキームの設定 , (4 ページ)	
ステップ 4	メッセージの設定の有効化 , (5 ページ)	
ステップ 5	連絡先リストの一括事前入力 , (6 ページ)	
ステップ 6	ユーザの設定を行う , (6 ページ)	

IM and Presence サービスの追加

IM and Presence サービス機能をユーザに提供します。

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2 [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [UC サービス (UC Service)] を選択します。
[UC サービスの検索と一覧表示 (Find and List UC Services)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3 [新規追加 (Add New)] を選択します。

[UC サービスの設定 (UC Service Configuration)] ウィンドウが開きます。

- ステップ 4** [UC サービスの追加 (Add a UC Service)] セクションで、[UC サービスタイプ (UC Service Type)] ドロップダウンリストから [IM および Presence (IM and Presence)] を選択します。
- ステップ 5** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 6** 次のように IM and Presence サービスの詳細を入力します。
- a) [製品のタイプ (Product Type)] ドロップダウンリストから [Unified CM (IM および Presence) (Unified CM (IM and Presence))] を選択します。
 - b) [名前 (Name)] フィールドにサービスの名前を入力します。
入力した名前は、プロファイルにサービスを追加する際に表示されます。入力する名前は必ず、一意的でわかりやすく、かつ意味が通じるものにしてください。
 - c) 必要であれば、[説明 (Description)] フィールドに説明を入力します。
 - d) [ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに、インスタントメッセージ/プレゼンス サービスのアドレスを入力します。
重要 サービスのアドレスは完全修飾ドメイン名または IP アドレスである必要があります。
- ステップ 7** [保存 (Save)] を選択します。

IM and Presence サービスの適用

Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence サービスを追加したら、クライアントが設定を取得できるようにそのサービスをサービス プロファイルに適用する必要があります。

はじめる前に

[IM and Presence サービスの追加, \(2 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [サービスプロファイル (Service Profile)] の順に選択します。
[サービスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Service Profiles)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** 目的のサービス プロファイルを検索し、それを選択します。
[サービスプロファイルの設定 (Service Profile Configuration)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** [IM/プレゼンスプロファイル (IM and Presence Profile)] セクションで、次のドロップダウンリストから、サービスを最大 3 つ選択します。
- プライマリ (Primary)
 - セカンダリ (Secondary)

- ターシャリ (Tertiary)

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 6 ユーザをサービス プロファイルに追加します。

- [ユーザ管理 (User Management)] > [エンド ユーザ (End User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ダイアログボックスが開きます。
- [ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索 (Find)] を選択してユーザを検索します。
- リスト内のユーザをクリックします。
[エンド ユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- [サービスの設定 (Service Settings)] 領域で [ホーム クラスタ (Home Cluster)] チェックボックスをオンにします。
- [Unified CM IM and Presence のユーザを有効化 (関連付けられている UC サービス プロファイルで IM and Presence を設定) (Enable User for Unified CM IM and Presence (Configure IM and Presence in the associated UC Service Profile))] チェックボックスをオンにします。
- [UC サービス プロファイル (UC Service Profile)] ドロップダウンリストからサービス プロファイルを選択します。

ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。

IM アドレス スキームの設定

この機能は、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence サービス リリース 10.x 以降でサポートされます。Cisco Unified Communications Manager IM and Presence サービス リリース 9.x 以前のバージョンで使用されるデフォルト IM アドレス スキームは、UserID@[Default Domain] です。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager IM & Presence Administration の [プレゼンスの詳細設定 (Advanced Presence Settings)] セクションで、[IM アドレススキーム (IM Address Scheme)] を選択します。

- UserID@[Default Domain]
ユーザ ID を使用する場合は、デフォルト ドメインが設定されていることを確認します。たとえば、サービスには cups ではなく、cups.com という名前を付ける必要があります。
- ディレクトリ URI。

IM アドレス スキームの設定方法については、『*Configuration and Administration of IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*』ガイドを参照してください。

ステップ 2 Cisco Unified Communications Manager Administration の [同期対象の標準ユーザフィールド (Standard User Fields to Be Synchronized)] セクションで必要なマッピングを選択します。

- LDAP フィールドにマッピングされるユーザ ID。デフォルトは sAMAccountName です。
- mail と msRTCSIP-primaryuseraddress のどちらかにマッピングされるディレクトリ URI。

フィールドのマッピング方法については、「ユーザ ID とディレクトリ URI の入力」の項を参照してください。

メッセージの設定の有効化

インスタントメッセージング機能を有効にし、設定します。

はじめる前に

[連絡先リストの一括事前入力](#)、(6 ページ)。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [メッセージング (Messaging)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。

ステップ 3 次のオプションを選択します。

- [インスタントメッセージを有効にする (Enable instant messaging)]
- [クライアントでのインスタントメッセージ履歴のログ記録を可能にする (Allow clients to log instant message history)]

ステップ 4 他のメッセージング設定も適切に選択します。

ステップ 5 [保存 (Save)] を選択します。

重要 Cisco Jabber は、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence サービス リリース 9.0.x の [プレゼンスの設定 (Presence Settings)] ウィンドウで次の設定をサポートしません。

- [ユーザの通話中に DND ステータスを使用する (Use DND status when user is on the phone)]
- [ユーザがミーティングに参加しているときに DND ステータスを使用する (Use DND status when user is in a meeting)]

次の作業

- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence サービス リリース 9.x 以降を使用している場合は、[IM and Presence サービスの追加](#)、(2 ページ)。

連絡先リストの一括事前入力

一括管理ツール (BAT) を使用してユーザの連絡先リストを事前に入力することもできます。

これにより、ユーザの連絡先リストを事前に入力して、クライアントの最初の起動後にユーザが連絡先のセットを自動的に入手できるようにします。

Cisco Jabber はクライアント連絡先リストで最大 300 件の連絡先をサポートします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ユーザに提供する連絡先リストを定義した CSV ファイルを作成します。	
ステップ 2	BAT を使用して一連のユーザに連絡先リストを一括でインポートします。	BAT の使用方法と CSV ファイルの形式については、ご使用のリリースの『 <i>Deployment Guide for Cisco Unified Communications Manager IM & Presence (Cisco Unified Communications Manager IM & Presence 導入ガイド)</i> 』を参照してください。

ユーザの設定を行う

ユーザの設定を行う場合は、インスタントメッセージおよびプレゼンスを有効にし、サービスプロファイルをユーザに追加します。

はじめる前に

[Microsoft SharePoint 2010 および 2013 でのプレゼンスの設定](#)

ユーザの設定を個別に行う

インスタントメッセージおよびプレゼンスを有効にし、個々のユーザにサービスプロファイルを追加します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** [ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得します。
- ステップ 4** 対象のユーザ名をリストから選択します。
[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [サービスの設定 (Service Settings)] セクションに移動し、以下の操作を行います。
- a) [ユーザに対して Unified CM IM and Presence を有効にする (Enable User for Unified CU IM and Presence)] を選択します。
 - b) [UC サービスプロファイル (UC Service Profile)] ドロップダウンリストからサービスプロファイルを選択します。
重要 Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x のみ：ユーザがインスタントメッセージおよびプレゼンスの機能しか使用していない (IM 専用) 場合は、[デフォルトの使用 (Use Default)] を選択する必要があります。Cisco Unified Communications Manager リリースバージョン 9.x は、[UC サービスプロファイル (UC Service Profile)] ドロップダウンリストから選択された項目に関係なく、常に、デフォルトサービスプロファイルを適用します。
- ステップ 6** [保存 (Save)] を選択します。
-

複数ユーザの設定を一括で行う

インスタントメッセージおよびプレゼンスを有効にし、複数のユーザにサービスプロファイルを追加します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの更新 (Update Users)] > [クエリー (Query)] を選択します。
[更新するユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users To Update)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得します。
- ステップ 4** [次へ (Next)] を選択します。

[ユーザの更新 (Update Users Configuration)] ウィンドウが開きます。

ステップ 5 2 つある [ユーザに対して Unified CM IM and Presence を有効にする (Enable User for Unified CU IM and Presence)] チェックボックスをどちらもオンにします。

重要 [ユーザに対して Unified CM IM and Presence を有効にする (Enable User for Unified CU IM and Presence)] チェックボックスは 2 つあります。インスタントメッセージおよびプレゼンスを無効にする場合は、いずれか一方のチェックボックスを選択します。インスタントメッセージおよびプレゼンスを有効にする場合は、両方のチェックボックスを選択します。

ステップ 6 [UC サービス プロファイル (UC Service Profile)] チェックボックスをオンにし、そのドロップダウン リストからサービス プロファイルを選択します。

重要 Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x のみ：ユーザがインスタントメッセージおよびプレゼンスの機能しか使用していない (IM 専用) 場合は、[デフォルトの使用 (Use Default)] を選択する必要があります。

IM 専用ユーザの場合：Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x は、[UC サービス プロファイル (UC Service Profile)] ドロップダウン リストで選択された項目に関係なく、常に、デフォルト サービス プロファイルを適用します。

ステップ 7 [ジョブ情報 (Job Information)] セクションで、ジョブをただちに実行するか後で実行するかを指定します。

ステップ 8 [送信 (Submit)] を選択します。

ユーザと回線の関連付け

ユーザの存在が [サイレント (Do Not Disturb)] として設定されるとユーザは IM 通知を受信しませんが、これによりユーザが [回線 (Line)] に関連付けられることを避けるため、ユーザはコールの通知を受信することができます。

この設定は、モバイルクライアントに適用されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] に移動します。

ステップ 3 ユーザ デバイスを選択します。
たとえば、BOTuser か TABuser を選択します。

- ステップ 4** [電話の設定 (Phone Configuration)]スクリーンで、[関連付け (Association)]の下にあるこのユーザ デバイス用に設定された、[電話番号 (Directory Number)]または[回線 (Line)]を選択します。
- ステップ 5** [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)]スクリーンで、[回線に関連付けられているユーザ (Users Associated with Line)]の下のユーザを関連付けます。
-

